※令和４年度以降入学生用

学校番号	401

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

我々の住む地球上には様々な地理的環境・気候がありそれに順応した生活がある。それは人々の思考パターンにも大きな影響を与えている。現代のグローバル化した社会の中で、様々な人々を協調して生きていくためには、歴史的・地理的な視点からの国際理解が不可欠である。同時に地図や地理情報システムを活用していくことは、我々の生活を豊かにするものである。地図や地理情報システムの活用方法を学ぶことで、日本や世界に対する目を広げていこう。

2　学習の到達目標

地図を活用する力を身につけ、地図や地理情報システムを通して世界の国々の状況を理解する方法を知る。世界各地の基本的な情報を知ることで、宗教・生活習慣の違いがなぜ生まれたのか、人々は何を大切に生きているのかを知り、偏見や差別に打ち勝てる力を身に付ける。世界が共通して抱える課題を知り、その解決のために何が出来るかを考え、行動する力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な地図の活用方法や地理情報システムで出来ることを知り、活用できる力を身に着けると共に、世界各地の気候や生活・歴史を知り、理解する。 現代の世界が抱える問題にはどんなものがあるのかを知り、具体的にどんな取り組みがされているのかを理解する。	世界や日本の様々な課題を解決に近づけるために、現在どのような取り組みが行われているのかを知り、また、地理学の立場からどのような取り組みが可能であるかを多面的・多角的に考察し、表現する。	世界のみならず、日本や地域社会における課題を具体的に設定し、解決のための方策を考え、必要に応じて関係諸機関に提案するなど、課題を主体的に追及する姿勢を持つ。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図と地理情報システム	地球上の位置と時差 地図の役割と種類	a:日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性について理解している。現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取りまとめる基礎的・基本的な技能を身につけている。 b:地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地図や地理情報システムについて、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
	結びつきを強める現代世界	現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	a:現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 b:現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:現代世界の地域構成について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※令和４年度以降入学生用

	生活文化の多様性と国際理解	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	a:世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 b:世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:生活文化の多様性と国際理解について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
2	生活文化の多様性と国際理解	世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活	a:世界の人々の特色ある生活文化の基に、自他の文化を尊重し、国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b:世界の人々の生活文化の背景にある社会的・歴史的要因などに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:生活文化の多様性がともすれば、差別や偏見の口実とされる現代世界の課題について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※令和４年度以降入学生用

	地球的課題と国際協力	複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・居住問題	a:世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 b:世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地球的課題と国際協力について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
3	自然環境と防災	日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	a:日本をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみらえる自然災害を基に、地域の自然環境の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に着けている。 b:地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境と防災について、より良い社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※令和４年度以降入学生用

	生活圏の調査と地域の展望	生活圏の調査と地域の展望	a:生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法について理解している。 b:生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結びつき、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:生活圏の調査と地域の展望について、より良い社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度